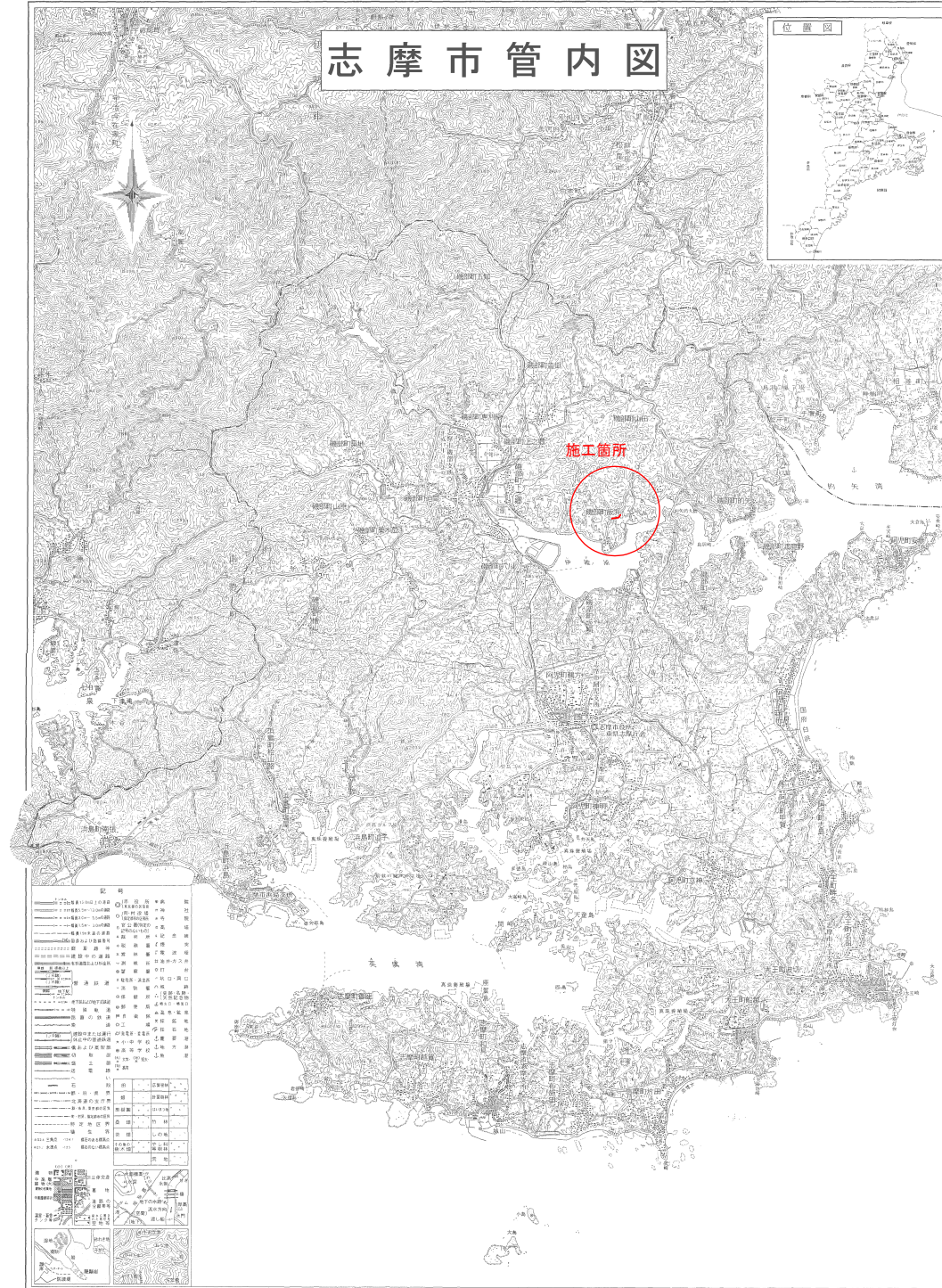


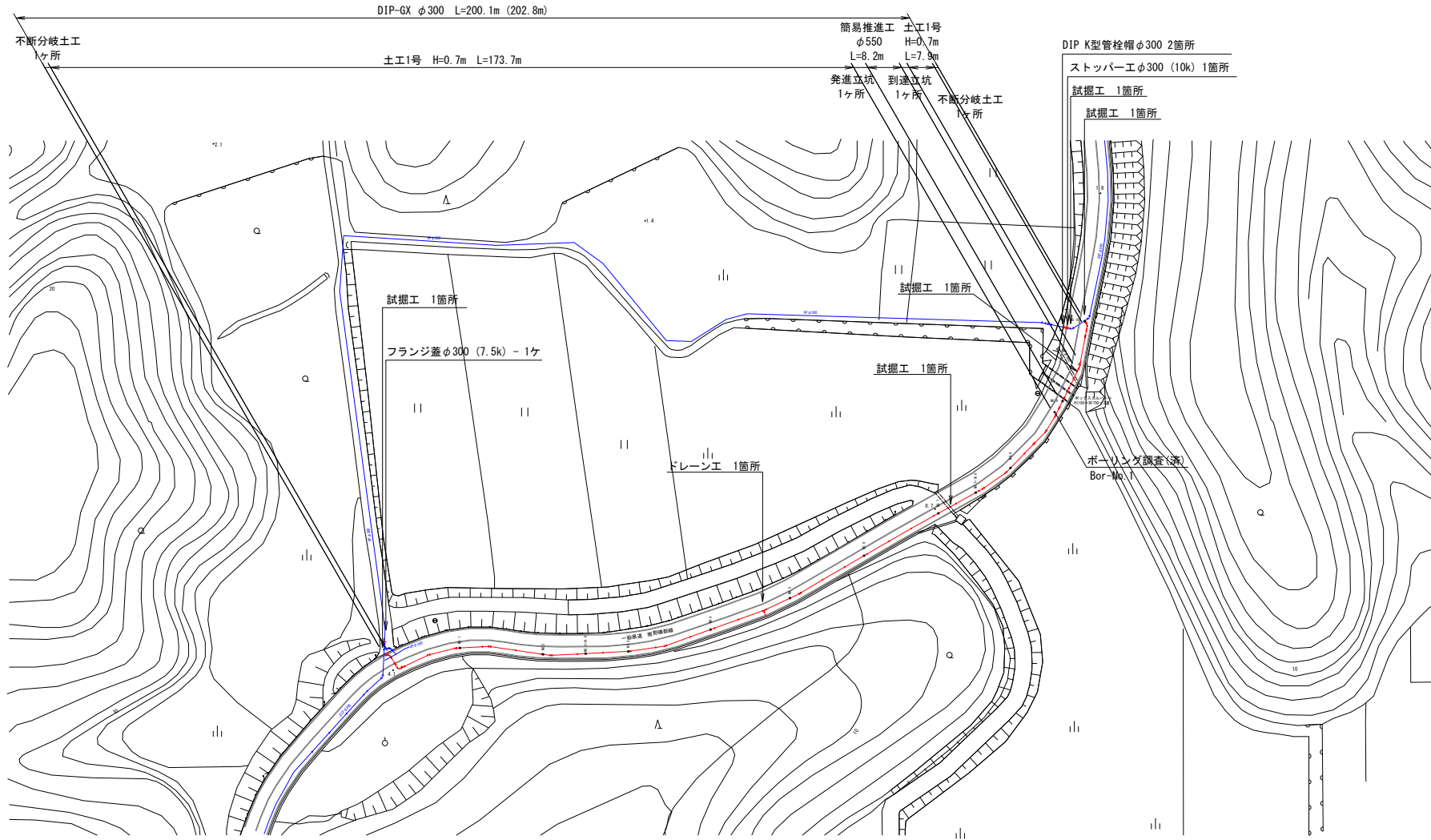
位置図



工 事 名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢磯部線)		
施工箇所名	志摩市磯部町飯浜地内		
図面の種類	位 置 図		
縮 尺	1:25,000	図面番号	1
志摩市上下水道部			

平面図

S=1:500



横断図

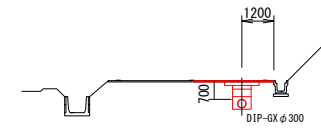
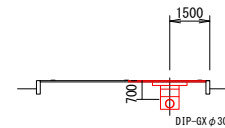
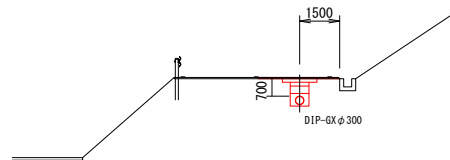
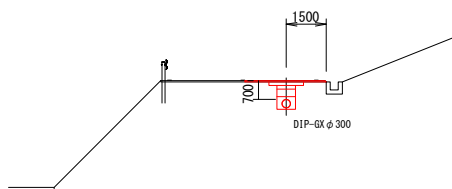
1:100

No. 2+10.0

No. 5

No. 7+10.0

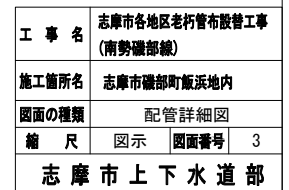
No. 9+15.0



工事名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢礪部線)		
施工箇所名	志摩市礪部町飯浜地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	図示	図面番号	2
志摩市上下水道部			

S=1 : 250

詳細B



*2測点に1箇所に識別マーカを設置すること。

配管詳細図

S=1:25

始点部

終点部

推進工部

縦断面図

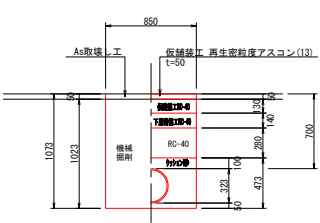
横断面図

工 事 名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢磯部線)		
施工箇所名	志摩市磯部町飯浜地内		
図面の種類	詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	4
志 摩 市 上 下 水 道 部			

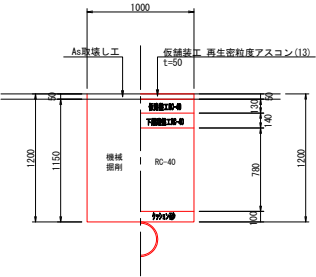
土工標準断面図 (1)

S=1:25

土工1号

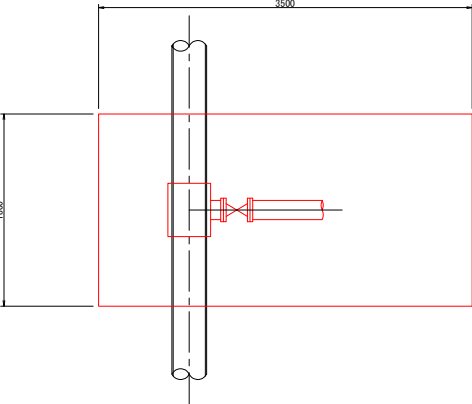


試掘工

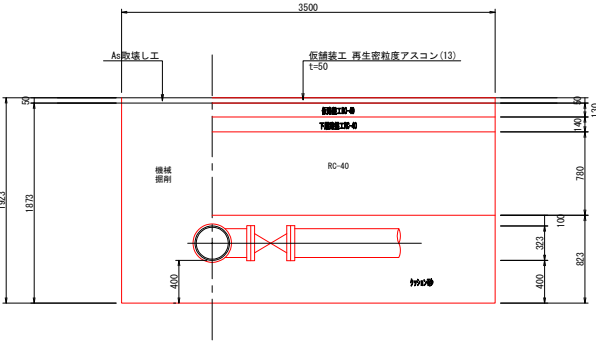


不断水分岐土工

平面図

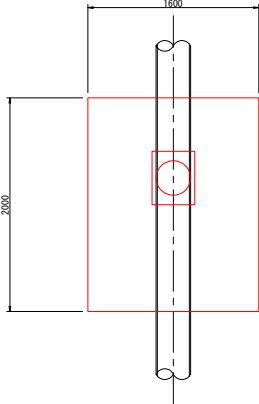


断面図

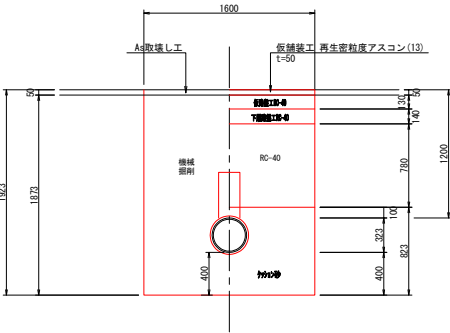


ストッパー土工

平面図



断面図

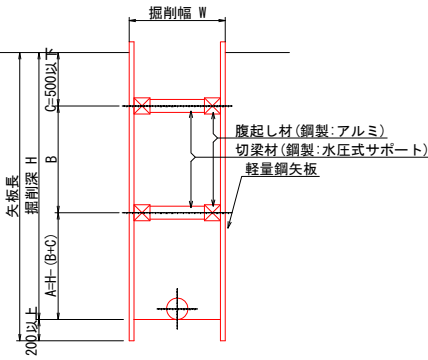


土留工標準図(参考図)

S=NO SCALE

断面図

軽量鋼矢板



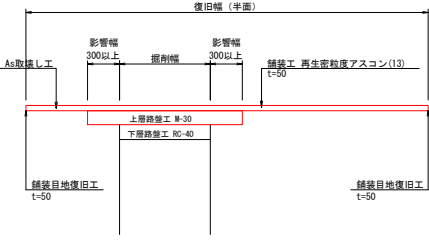
掘削深	矢板矢板材		支保材	
	矢板長	厚み	段数	腹起し材
1.5m以下	1.5m	2.0m	3.5cm	1
1.5m以下	1.5m	2.5m	3.5cm	1
2.0m以下	2.0m	2.5m	3.5cm	2
2.5m以下	2.5m	3.0m	3.5cm	2
3.0m以下	3.0m	3.5m	3.5cm	2
3.5m以下	3.5m	4.0m	3.5cm	2
4.0m以下	4.0m	4.0m	3.5cm	3

※同様に矢板材についても、支保材を含めた検討を要しながら施工を行うものとする。

※腹起しの設置位置については、現場状況に応じ検討を行うものとする。
※掘削深が2.0m以上は、支保材2段とする。
※矢板は根入長0.2m以上を考慮すること。

路面復旧工

(県道：南勢磯部線)



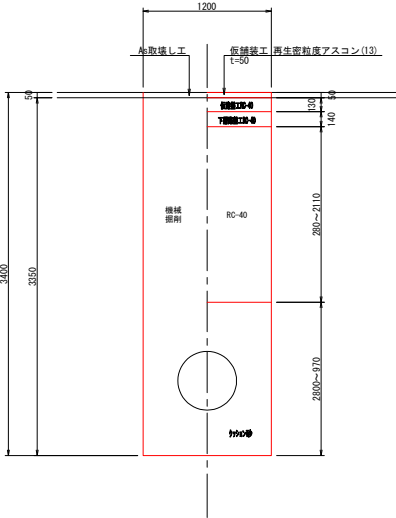
工事名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢磯部線)
施工箇所名	志摩市磯部町飯浜地内
図面の種類	土工標準断面図(1)
縮尺	図示 図面番号 5
志摩市上下水道部	

土工標準断面図 (2)

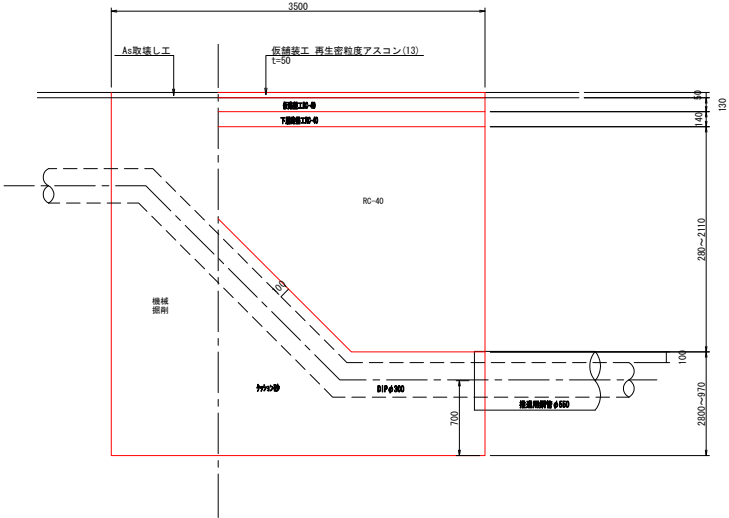
S=1:25

発進立坑

横断面

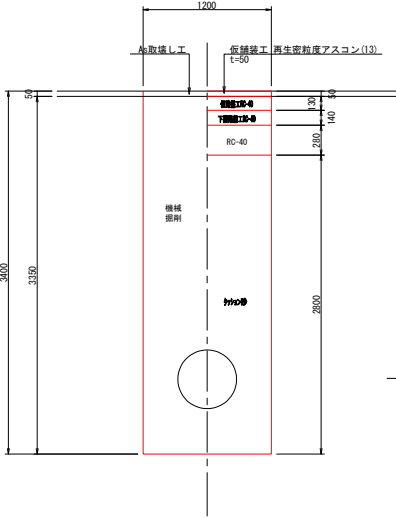


縦断面

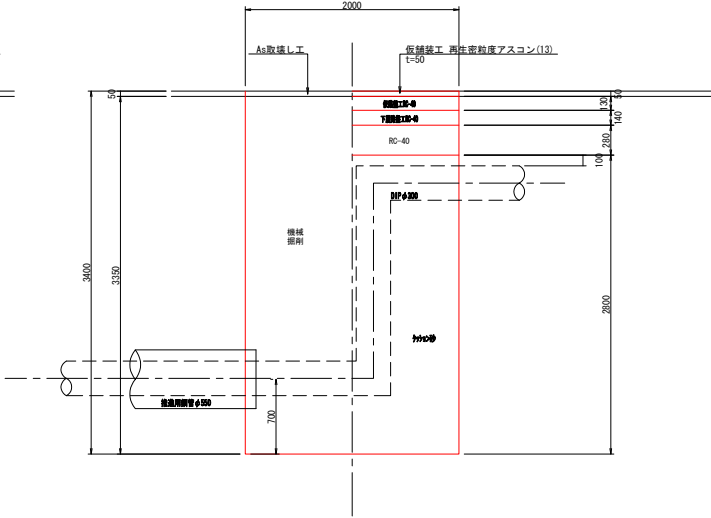


到達立坑

横断面



縦断面

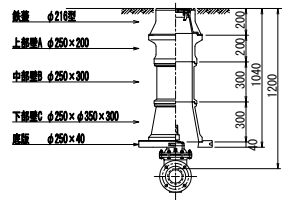


工 事 名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢礪部線)
施工箇所名	志摩市礪部町飯浜地内
図面の種類	土工標準断面図 (2)
縮 尺	図示 図面番号 6
志 摩 市 上 下 水 道 部	

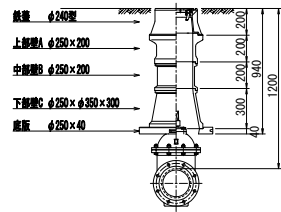
弁室据付標準図

S=1:20

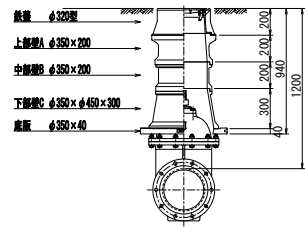
仕切弁室 (φ25~φ100)



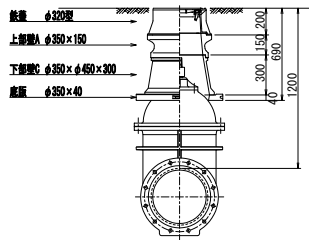
仕切弁室 (φ150~φ200)



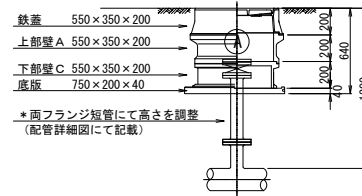
仕切弁室 (φ250~φ300)



仕切弁室 (φ350)



空気弁・消火栓室



鉄蓋 φ216型



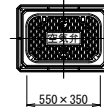
鉄蓋 φ240型



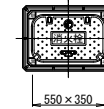
鉄蓋 φ320型



空気弁鉄蓋 550×350型



消火栓鉄蓋 550×350型



消火栓蓋はカラー塗装とする。

空気弁室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B	下部壁 C		下部壁 A C	底板
500	●	●	●	●	●	●	●	●
700~	●	●	●			●		●

消火栓室 (単口用)

H	鉄蓋	調整リング	上部壁 A	中部壁 B	下部壁 C		下部壁 A C	底板
500	●	●	●	●	●	●	●	●
700~	●	●	●			●		●

注：土被りH=800以上の消火栓・空気弁室については、両フランジ短管にて消火栓・空気弁（補修弁含む）の設置高を調整するため、弁室の高さ（底高）は補修弁の下あたりになるように調整すること。

仕切弁室 (φ75~φ100)

H	鉄蓋	上部壁 A	中部壁 B				下部壁 C		上下部壁 A C	底板
	φ216型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×40
500	●								●	●
600	●								●	●
700	●	○	●					●	●	●
800	●	○	●					●	●	●
900	●	○	●	●	○			●	●	●
1000	●	○	●	○		●		●	●	●
1200	●	○	●	●	○		●	●	●	●
1300	●	○	●		○	●	●	●	●	●

仕切弁室 (φ150~φ200)

H	鉄蓋	上部壁 A	中部壁 B				下部壁 C		上下部壁 A C	底板
	φ240型	φ250×150	φ250×200	φ250×100	φ250×150	φ250×200	φ250×300	φ250×φ350×200	φ250×φ350×300	φ250×40
600	●	○							●	●
700	●	○							●	●
800	●	○	●					●	●	●
900	●	○	●					●	●	●
1000	●	○	●	●				●	●	●
1200	●	○	●	●	○	●		●	●	●

仕切弁室 (φ250~φ300)

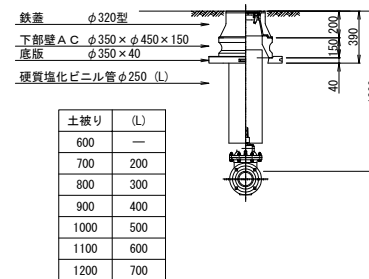
H	鉄蓋	上部壁 A	中部壁 B				下部壁 C		上下部壁 A C	底板
	φ320型	φ350×150	φ350×200	φ350×100	φ350×150	φ350×200	φ350×300	φ350×φ450×200	φ350×φ450×300	φ350×40
700	●	○							●	●
800	●	○							●	●
900	●	○	●					●	●	●
1000	●	○	●	○				●	●	●
1100	●	○	●		●			●	●	●
1200	●	○	●	○		●		●	●	●
1300	●	○	●		○	●	●	●	●	●

仕切弁室 (φ350)

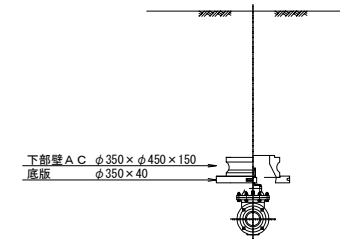
H	鉄蓋	上部壁 A	中部壁 B				下部壁 C		上下部壁 A C	底板
	φ320型	φ350×150	φ350×200	φ350×100	φ350×150	φ350×200	φ350×300	φ350×φ450×200	φ350×φ450×300	φ350×40
1000	○								○	○
1200	○	○							○	○
2400	○		○			○	○×3		○	○

仮設仕切弁標準図

仮設設置時



仮設撤去時



参考図

工 事 名	志摩市各地区老朽管布設替工事 (南勢礪部線)		
施工箇所名	志摩市礪部町飯浜地内		
図面の種類	弁室据付標準図		
縮 尺	1:20	図面番号	7
志 摩 市 上 下 水 道 部			

注：組合わせは、仕様書及び表の通りとする。
鉄蓋は、市名・市章入りとする。
レジンコンクリート製とする。